

外国語科学習指導案

福山市立神辺西中学校

- 1 日 時 2020年(令和2年)12月8日(火)5校時
- 2 学 年 1年2組 35名
- 3 単元名 Unit7 ブラジルから来たサッカーコーチ (New Horizon English Course 1)
- 4 単元について

単元観

本単元では、「ALTについてのポスターを作成するために、一人ひとりがインタビュー活動を行う」というパフォーマンス課題を設定し、自分たちが知りたい情報を得るために会話を継続・発展させることをねらいとする。インタビュー活動を通して、既習の疑問文(Are you ~?, Do you ~?, how many や what を用いた疑問文)と本単元で学習する疑問詞(who, which, what time)を含んだ疑問文の両方を、どのように活用できるのかを実際に体験させ、自然なやり取りの中でそれらを習得させることができると考える。

中学校学習指導要領(平成29年告示)解説 外国語編の「日常的な話題について、事実や自分の考え、気持ちなどを整理し、簡単な語句や文を用いて伝えたり、相手からの質問に答えたりすることができるようにする。」(話すこと[やり取り]—イ)に基づき、相手に質問したいことを整理して自ら対話の流れをつくることや、相手の返答に適切に応じながら対話を継続させることを重視している。

生徒観

今年度は、コロナ禍での授業であるため、1学期の「話すこと」の指導においては、自己紹介などの[発表]による活動が中心であった。1学期末に行った自己紹介(30秒間)のパフォーマンステストでは、8割近い生徒が7文以上言うことができていた。2学期の自己紹介の練習の中では、内容を精選したり紹介する順序を考えたりすることができるようになりつつある。[やり取り]については、「友達が発表した内容について質問する」というところから少しずつ始め、その中で生徒たちは「相手意識」や「話題のつながり」といったことを考えて話す必要があると気づき、本単元ではインタビュー活動の際にそれを実践しようと考えている。しかし、アンケート結果にも表れているように、「聞いたり読んだりした内容について、その場で相手に質問したり答えたりすることができる。」という項目に関しての肯定的評価は40%を下回っている。このことから、「その場で」という即興的な活動に対して自信が持てない生徒が多いことがわかる。11月の帯活動の中では、「相手の発言や質問に対する答え」に対して、何か一言付け加えるというtaskに取り組んでいるが、今後も継続して、即興で伝え合うということに慣れさせる必要があると考えられる。

【 質問項目 (*回答の数値は肯定的評価) 】	7月末	10月末
小学校のときよりも英語で自分の言いたいことが伝えられる。	86%	94%
ALTとコミュニケーションをとることは楽しい。	(1学期は授業なし)	89%
相づちなどの反応を心がけ、会話の内容が深まるように心がけている。	57%	71%
習ったことを使って、自分の考えなどを積極的に伝えることができる。	51%	66%
習ったことを使って、相手に質問したり質問に答えたりすることができる。	31%	40%
聞いたり読んだりした内容について、その場で相手に質問したり答えたりすることができる。	23%	34%

指導観

本単元の目標を達成するために、特に次の3点を焦点化して指導する。

(※①：基礎・基本，②主体的・対話的な学び，③深い学び)

- ①ALTとのインタビューで主体的に活動できるように、授業の帯活動と家庭学習の両方において、疑問文の作り方とその答え方を繰り返し復習させる。
- ②主：円滑にインタビューをすすめていくために、メモを活用して自分が知りたいことを整理させ、やり取りの見通しを持たせる。
対：ALTの自己紹介のときに知った情報を手がかりにその内容をさらに深めたり、自分との共通点を探したりするなど、ALTとの人間関係をつくりながらインタビューをすすめさせる。
- ③目的・場面・状況等に応じた話の切り出し方、質問のしかたやその順番などを考えさせたり、会話の流れや相手の答えに関連する質問を即座にしたりすることに慣れさせる。

5 単元目標

- 【表】「ポスターを作成する」という目的を達成するために、限られた時間で質問したり、相手の返答に適切に応じたりする。
- 【コ】①目的を達成するために、習ったことを活用して、積極的に情報を収集する。
②収集した情報を基に、積極的にポスターを作成する。
- 【知】疑問詞を含んだ文とその答え方の形・意味・用法について理解する。

6 単元の評価規準

ア コミュニケーションへの関心・意欲・態度	イ 外国語表現の能力	ウ 外国語理解の能力	エ 言語・文化についての知識・理解
①目的を達成するために、習ったことを活用して、積極的に情報を収集しようとしている。 ②収集した情報を基に、積極的にポスターを作成しようとしている。	目的を達成するために、限られた時間で質問したり、相手の返答に適切に応じたりすることができる。	/	疑問詞を含んだ文とその答え方の形・意味・用法に関する知識を身につけている。

7 本校で身に付けさせる21世紀型“スキル&倫理観”（※太枠：本単元での重点項目）

課題発見・解決能力	思考力・判断力・表現力	コミュニケーション能力
自ら課題を発見し、身に付けた技能や既習事項を生かしながら、筋道を立て課題を解決しようとする力が身に付いている。	課題を解決するために既習事項を生かし、対話を通じて、互いの相違点を理解し、深い学びを目指すことができる。	自己と他者の違いを受け入れ、協働しながら課題を解決し、よりよい生活を目指し続けようとしている。

8 単元ゴール

コミュニケーションの目的・場面・状況	ALTについてのポスターを作成する（*ルーカス先生のことをもっと知って仲良くしたい、2・3年生にも新しいALTのルーカス先生のことを知ってもらいたい）ために、ALTへのインタビュー活動において、積極的に問答を行い、相手の返答に適切に応じながら、会話を継続・発展させることができる。
--------------------	--

目指す発話例

≪対話例①(評価A)≫

S1 : Hello. My name is □□.

S2 : Hi. My name is ◆◆.

S1 : May I ask you some questions ?

ALT: Sure.

S1 : I like anime. You like it, too, right ?

ALT: Yes, I like it a lot.

S1 : Do you know any Japanese anime ?

ALT: Yes, I know many Japanese anime.

S1 : What Japanese anime do you like ?

ALT: I like Attack on Titan, Shingeki-no-kyojin.

S1 : Oh, really? I have all of the comics.

What's your favorite character ?

ALT: Levi is my favorite.

S1 : Why ?

ALT: Because he is really cool and tough.

S2 : You are from America, right ?

ALT: Yes.

S2 : What Japanese anime is popular in America ?

ALT: DRAGON BALL Z, ONE PIECE and so on.

S2 : Which is popular, DRAGON BALL Z or ONE PIECE ?

ALT: I think DRAGON BALL Z is. But I like ONE PIECE.

S2 : Me, too.

≪対話例②(評価B)≫

S3 : Hello. My name is □□.

S4 : Hi. My name is ◆◆.

S3 : May I ask you some questions ?

ALT: Sure.

S3 : Please tell me your daily life.

What time do you get up every morning ?

ALT: I get up at seven.

S3 : What time do you leave home ?

ALT: I leave home at seven thirty.

S3 : How do you come to our school ?

ALT: By train.

S3 : Do you live near the station ?

ALT: Yes, I do.

S4 : Where in Fukuyama do you live ?

ALT: I live in Kita-Honjo.

S4 : Do you eat breakfast every morning ?

ALT: Yes, I do.

	<p>S4 : Do you eat a lot ?</p> <p>ALT: Not so much.</p> <p>S4 : What do you have for breakfast ?</p> <p>ALT: I have some fruits and yogurt.</p>
--	---

9 小学校外国語活動を踏まえた指導の工夫

- ①日常生活に関する身近で簡単な事柄について、自分の考えや気持ちなどを伝えたり、簡単な質問をしたり質問に答えたりして伝え合う。
- ②関連する言語材料

We Can 1, 2	We Can 1, 2 → 中学校	中学校
<p>≪We Can 1 : Unit9≫</p> <p>○Who is your hero ?</p> <p>○This is my hero.</p> <p>She / He is~.</p>	<p>あこがれの人を尋ねる&説明する</p> <p>→好きな人(歌手・俳優など)を尋ねる&理由を付けるなどして詳しく説明する</p>	<p>○Who is your favorite musician ?</p> <p>○My favorite is Aimyon.</p> <p>She is very cute.</p> <p>She can play the guitar well.</p>
<p>≪We Can 1 : Unit4≫</p> <p>○What time do you get up ?</p> <p>○I get up at six.</p>	<p>一日の日課について尋ねる&答える</p> <p>→頻度を表す副詞や一般動詞の種類を増やし、一日の日課について尋ねる&答える</p> <p>ある場所の時刻について尋ねる&答える</p>	<p>○What time do you usually go home ?</p> <p>○I usually go home at about five fifteen.</p> <p>○What time is it in London now ?</p> <p>○It's eight a.m. there.</p>

10 単元計画 (全10時間)

時	目標 (◆), 発話量の目安 (*) など	評価規準 [評価方法]
1 ・ 2	<p>◆単元末のパフォーマンス課題について理解する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・3~4人1組でALTについてのポスターを作成することを確認し、一人ひとりがあるような話題について書いたらよいのかを考える。 (*10月の授業でもらったALTの自己紹介の内容を復習する) ・インタビュー活動のポイントを確認する。 <p>◆これまでに学習した疑問文(Are you ~?, Do you ~?, how manyやwhatを用いた疑問文など)の形・意味・用法について復習する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>A: Do you like sports ?</p> <p>B: Yes, I do.</p> <p>A: What's your favorite sport ?</p> <p>B: My favorite sport is baseball.</p> <p>A: Are you a fan of the Carp ?</p> <p>B: Yes, I am.</p> <p style="padding-left: 20px;">I'm a big fan of Ryosuke Kikuchi.</p> </div>	<p>イ・ア-①</p> <p>[後日, パフォーマンステスト]</p>
3	<p>◆目的を達成するために、積極的に質問を続けながら、情報を収集しようとしている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・JTEに「お試しインタビュー」を行うことで、前時まで確認したインタビュー活動のポイントが有効であったのかを確認したり、新たなポイントを見出したりす 	<p>ア-①</p> <p>[ワークシート]</p>

	<p>る。</p> <p>A : May I ask you some questions ? JTE : Sure. A : I like basketball. Do you like it, too ? JTE : Yes, I do. A : Oh, nice. Are you into watching NBA ? JTE : No, I just like playing basketball. B : Do you practice it every day ? JTE : No, I don't. B : When do you practice it ? JTE : Every Wednesday and Saturday. B : Where do you practice it ? JTE : At Kannabe Gym.</p>	
<p>4 . 5</p>	<p>◆疑問詞を含んだ文とその答え方の形・意味・用法に関する知識を身につけている。 ・教科書の本文のディクテーション、内容理解、音読など ・Q&Aプリントを活用して、本単元で学習する疑問詞 (who, which, what time) を含んだ疑問文の口頭練習をする。</p> <p>A : What time do you usually get up ? B : I usually get up at six thirty. A : Do you eat breakfast every morning ? B : Yes, I do. A : Which do you have for breakfast, rice or bread ? B : I often have rice.</p> <p>A : I'm into Kimetsu-no-yaiba. Are you into it, too ? B : Yes, I am. A : Who is your favorite character ? B : Nezuko is my favorite. A : Why ? B : Because she is very cute and strong. A : Which do you like, Zenitsu or Inosuke ? B : I like Zenitsu.</p>	<p>エー① [後日, 単元末テスト]</p>
<p>6 . 7</p>	<p>【 本時 】</p> <p>◆目的を達成するために、積極的に質問を続けながら、情報を収集しようとしている。 ・グループごとに、インタビューのトレーニング (互いに質問し合う、メモの作り方や質問の流れが適切かどうかを確認する) を行う。</p> <p>A&B : interviewers C : interviewee</p> <p>A : Excuse me. My name is ○○. May I ask you some questions ? C : Sure. A : I like reading books. Do you like it, too ? C : No, I don't. B : How about listening to music ? C : I like it very much. B : Which do you like, J-pop or K-pop ? C : I like J-pop. B : Who is your favorite musician ? C : My favorite is Aimyōn. A : Aimyōn can play the guitar, right ? C : Yes, she can play it very well. A : Can you play the guitar ? C : No, I can't.</p>	<p>アー① [観察・ワークシート]</p>

8	<p>◆目的を達成するために、限られた時間で質問したり、相手の返答に適切に応じたりすることができる。</p> <p>◆目的を達成するために、積極的に質問を続けながら、情報を収集しようとしている。</p>	<p>イ・アー① [パフォーマンステスト]</p>
9 ・ 10	<p>◆収集した情報を基に、積極的にポスターを作成しようとしている。</p>	<p>アー② [新聞]</p>

1 1 本時の学習

(1) 本時の目標

○インタビューのコツを生かして、積極的に情報収集しよう。

(2) 本時の評価規準

○目的（ALT についてのポスター作成）を達成するために、習ったことを活用して、積極的に情報を収集しようとしている。

(3) 本時の学習展開

時	学習活動	指導上の留意事項	評価規準, 方法
5 分	<p>1 Review</p> <p>《 スラスラ TNB 》</p> <p>・様々な種類の疑問文の作り方やその答え方を確認する。</p>	<p>○既習事項を今後の活動の中でスムーズに使えるように、ペアごとに口頭練習を行わせる。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>・Do you have any brothers? ⇒ Yes, I do. / No, I don't.</p> <p>・How many pets do you have? ⇒ I have a dog. / I don't have any pets.</p> <p>・What do you do on weekend? ⇒ I play games. / I read comics.</p> </div>	
3 分	<p>2 学習課題の把握</p> <p>・本時のねらいを確認する。</p>	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;"> <p>インタビューのコツを生かして、積極的に情報収集しよう</p> </div> <p>○インタビューを行う際のポイントは何であるのかを確認させる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・表情やアイコンタクトなどを意識して、話しやすい雰囲気をつくる。 ・わかりやすいメモをつくる。 ・1つの話題について内容を広げていく。 ・相手に答えてもらったことをさらに深く訊く。 <p style="text-align: right;">など</p>	
10 分	<p>3 Activity</p> <p>《 Let' s Try① 》</p> <p>・3～4人1組で、interviewer と</p>	<p>○前時に作成したメモをもとに、実際にインタビュー</p>	<p>ア①【観察, ワ</p>

	<p>interviewee の役に分かれ、メモを活用して、制限時間 2 分のインタビューを行う。</p> <p>interviewer: メモをもとに、自分が知りたいことを質問する。</p> <p>interviewee: 相手の質問に回答する。</p> <p>《 Sharing① 》</p>	<p>に挑戦させる。</p> <p>○ 2 分経ったら、自分が作成していた事前メモが役立ったかどうかをグループで考えさせる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・質問の流れが整理してあるとよい。 ・相手の返答をいくらか予測しておくといよい。 <p>○ Let' s Try②に向けて、事前メモの見直し・修正をさせる。</p>	<p>ークシート】</p>
<p>12 分</p>	<p>《 Let' s Try② 》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ Let' s Try①と同じ役割で、見直したメモを活用して、制限時間 3 分のインタビューを行う。 <p>《 Sharing② 》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 代表ペアが全体の前で発表する。 	<p>○ 見直したメモをもとに、再度インタビューに挑戦させる。</p> <p>○ 3 分経ったら、Let' s Try①とどのような違いがあったのかを全体で共有させる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ メモは日本語・英語・絵など、いずれを用いてもよい。 ・ インタビュー中のメモは、自分だけでなく他の interviewer が質問した内容に関することもメモしておくといよい。 <p>○ 相づちやつなぎ言葉なども入れ、良い雰囲気でのインタビューをすすめることも大切であることを意識させる。</p>	<p>ア①【観察、ワークシート】</p>
<p>17 分</p>	<p>《 Let' s Try③ 》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 役割を交代して、制限時間 5 分のインタビューを行う。 <p>《 Sharing③ 》</p>	<p>○ インタビュー活動に行き詰まっているグループがあれば支援する。</p> <p>○ 5 分経ったら、メモだけでなく、インタビュー活動全体において困ったことやうまくいったことを共有させる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 尋ね方が分からなかった表現がある。 <p>→ これまでに習ったことでいかに表現するかを全体で考えさせる。</p>	<p>ア①【観察、ワークシート】</p>

	<p>・役割を交代して、再度、制限時間5分のインタビューを行う。</p>	<p>・やり取りが行き詰まったときに、どうしていいかわからなくて困った。 →「単語レベルでもいいから、情報を1つでも多く収集しようと粘る」、「スラスラTNBなどのこれまでに練習した内容を生かす」、「どんな質問をすると話題を深めたり広げたりすることができるのかをメモの段階で考える」など、対話を継続・発展させることができたペアの声を反映させる。</p> <p>○インタビュー活動に行き詰まっているグループがあれば支援する。</p>	
3分	<p>4 まとめ ・振り返りカードを記入する。</p>	<p>○振り返りカードの記入によって、ALT と行うパフォーマンス課題に向けての改善点に気付かせたり、目標を持たせたりする。</p>	

(4) 準備物

○プロジェクター ○スクリーン ○パソコン ○ワークシート ○タイマー

12 パフォーマンステスト (ALT とのやり取り, interviewer 3人, 制限時間7分)

評価の観点	関心・意欲・態度① 【 本時 】	表現
A	習ったことを活用してやり取りを継続させ、積極的に情報を収集しようとしている。	自分のことを知ってもらったり、相手との共通点などを探したりしながら、自分が知りたい情報を得るための質問と相手の返答に応じた追加の質問をすることができる。 (※やり取りが5往復以上)
B	習ったことを活用して、積極的に情報を収集しようとしている。	自分が知りたい情報を得るための質問と相手の返答に応じた追加の質問をすることができる。 (※やり取りが4往復程度)
C	Bを満たしていない	相手の返答に応じた追加の質問ができていない。